

CO2を固定化し収支をマイナスにするコンクリートを用いた埋設型枠の試行工事概要

試行工事：令和3 - 4年度 日下川新規放水路管理道整備工事 工事延長L=274m

<工事概要>

本工事は、日下川新規放水路の「作業坑」部を「管理用通路」として整備する工事である。

本工事は施工にあたり、**CO2を固定化し収支をマイナスにするコンクリート**を用いた埋設型枠を一部で使用する。

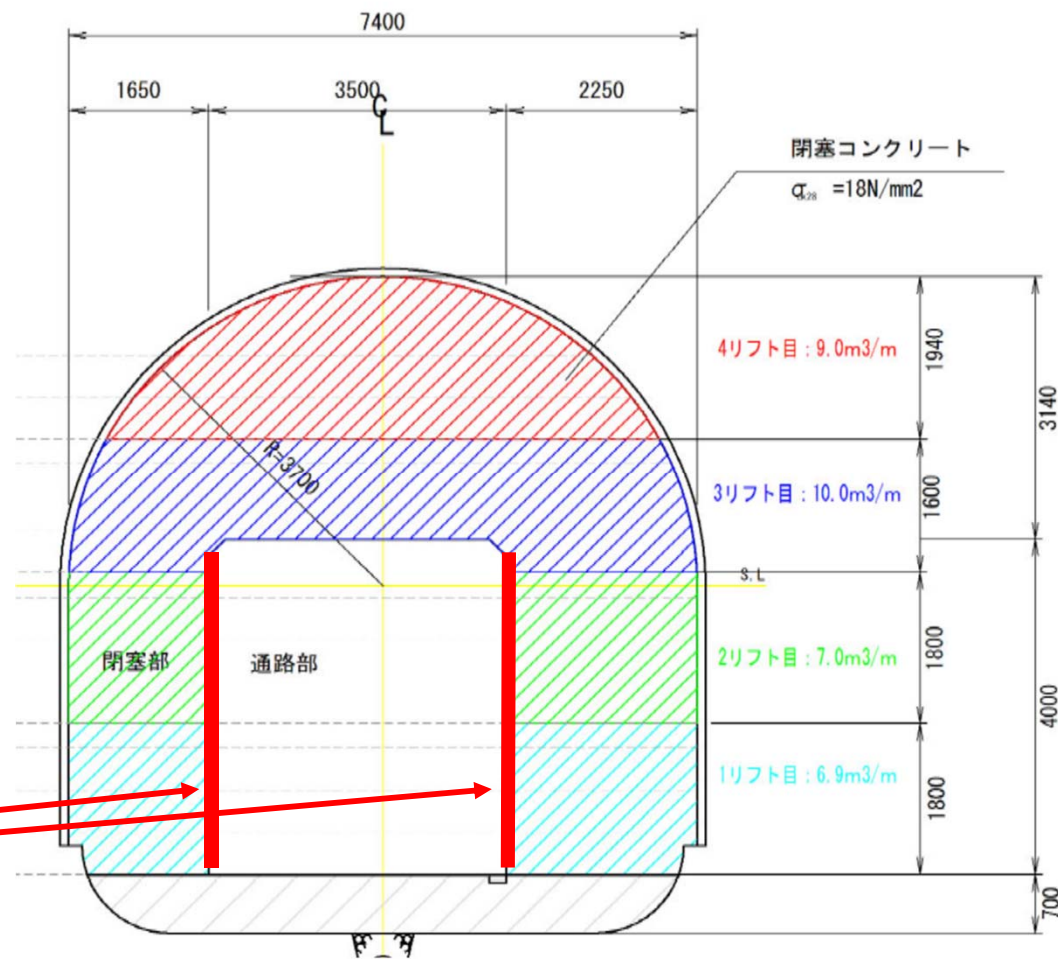


※日下川新規放水路
平成26年8月の台風12号による甚大な被害を契機とし、同規模の洪水に対して床上浸水被害を発生させないことを目的として、高知県日高村及びいの町において整備している放水路。

【試行工事の内容】

現状の作業坑を管理用通路として整備するために、コンクリートを充填

→その際、使用する型枠(側面)に、CO2を固定化し収支をマイナスにするコンクリートを用いた埋設型枠を使用



CO2を固定化し収支をマイナスにするコンクリートを用いた埋設型枠施工箇所
高さ約3.6m × 延長約12m × 2面
(予定数量)

[試行工事取材場所 位置図]

取材をご希望の方は、
事前の連絡をお願いいたします。

<連絡先>
国土交通省四国地方整備局
高知河川国道事務所
建設専門官 鏡(かきひ)
(代) 088-833-0111 (内線406)
(直) 088-833-6904

